

# 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月27日

上場会社名 株式会社 ディーエムエス  
 コード番号 9782 URL <http://www.dmsjp.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山本 克彦

問合せ先責任者 (役職名) 経理部部長代理

(氏名) 橋本 竜毅

TEL 03-3293-2961

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	11,492	7.0	430	△4.7	433	△2.9	304	△1.1
29年3月期第2四半期	10,745	10.9	451	27.2	446	27.5	307	25.1

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 326百万円 (11.7%) 29年3月期第2四半期 291百万円 (39.9%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
30年3月期第2四半期	52.25		—	
29年3月期第2四半期	52.84		—	

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円	銭	円	銭
30年3月期第2四半期	14,784		10,243	69.3	1,759.10			
29年3月期	15,026		10,016	66.7	1,720.08			

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 10,243百万円 29年3月期 10,016百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
29年3月期	—	0.00	—	17.00	17.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年 3月期の連結業績予想(平成29年 4月 1日～平成30年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	23,504	3.7	1,254	3.0	1,254	3.8	842	2.1	144.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	7,262,020 株	29年3月期	7,262,020 株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	1,438,907 株	29年3月期	1,438,859 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	5,823,125 株	29年3月期2Q	5,823,161 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の条件となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、平成29年12月1日(金)に機関投資家、アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料は、開催後、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の不透明感が懸念されたものの、政府および日本銀行の継続的な経済対策や金融政策を背景として、雇用・所得環境は改善傾向が続き、緩やかな回復基調で推移しました。

このようななか当社は、ダイレクトメール、セールスプロモーション、イベントといった顧客企業にとっての手段を提供するだけでなく、それらを使って「ユーザーともっとよい関係を作りたい」、「より多くの商品・サービスをご利用いただきたい」といった顧客企業にとっての「売れる仕組みづくり」の支援を目指しております。

こうした方針のもと、リアルとWEB、販促と物流の好循環による新たな収益機会を作っていくための基本戦略として、「デジタル時代のDMへの対応強化」「顧客企業の売上を伸ばす物流事業の推進」「2020年に向けたSP・イベント分野の受注促進」に取り組んでまいりました。

この結果、当社グループの当四半期連結累計期間の売上高は、114億92百万円（前年同期比7.0%増）となりました。営業利益は、物流センター移転拡張に伴う仲介手数料計上のため4億30百万円（同4.7%減）となりました。経常利益は、営業外収益が16百万円（同41.5%増）、営業外費用が13百万円（同20.4%減）となった結果、4億33百万円（同2.9%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、税金費用を1億39百万円としたことにより3億4百万円（同1.1%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①ダイレクトメール部門

既存顧客の取引窓口の拡大や物流サービスの新規受注を促進した結果、売上高は106億40百万円（同5.9%増）となりました。セグメント利益は第1四半期では新規受注案件の初期費用や前期後半に投入した設備の減価償却費負担により前年同期比3.4%減でありましたが、ダイレクトメールと通販物流の取扱い伸長により良化し、6億17百万円（同6.7%増）となりました。

#### ②セールスプロモーション部門

各種販促支援および企画制作業務に注力した結果、売上高は4億93百万円（同0.3%減）となりました。一方、セグメント利益は一部の既存販促支援業務等における業務効率向上の効果により80百万円（同4.3%増）となりました。

#### ③イベント部門

販売促進・観光振興・スポーツイベントなどの運営・警備業務に注力した結果、売上高は3億14百万円（同107.4%増）、セグメント損失は1百万円（前年同期セグメント損失18百万円）となりました。

#### ④賃貸部門

千代田小川町クロススタビル（東京都千代田区）等の売上高は39百万円（同7.7%増）、セグメント利益は18百万円（同25.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産の状況

当四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて主に現金及び預金が3億17百万円増加しましたが、売上債権が2億82百万円、仕掛品が2億24百万円、信託受益権が93百万円それぞれ減少したことにより、全体として59億26百万円（前連結会計年度末比2億75百万円減）となりました。

当四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて主に減価償却費の計上等で有形固定資産、無形固定資産および投資不動産が44百万円、建設仮勘定が1億34百万円それぞれ減少しましたが、土地が1億63百万円、差入保証金・敷金が39百万円、保有株式の時価上昇などで投資有価証券が15百万円それぞれ増加したことにより、全体として88億57百万円（同33百万円増）となりました。

当四半期連結会計期間末の繰延資産は、社債発行費が123千円（同678千円減）となりました。

その結果、資産合計では、147億84百万円（同2億42百万円減）となりました。

②負債の状況

当四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて主に前受金が4億39百万円減少したことにより、全体として40億79百万円（同4億71百万円減）となりました。

当四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて主に長期リース債務が13百万円減少しましたが、繰延税金負債が6百万円、退職給付に係る負債が5百万円、役員退職慰労引当金が2百万円それぞれ増加したことにより、全体として4億61百万円（同1百万円増）となりました。

その結果、負債合計では、45億41百万円（同4億69百万円減）となりました。

③純資産の状況

当四半期連結会計期間末の純資産は、主に利益剰余金では親会社株主に帰属する四半期純利益3億4百万円の計上と配当98百万円を支払ったことにより、差し引きで前連結会計年度末に比べて2億5百万円の増加となりました。そのほか、株式市場等の上昇を受けてその他有価証券評価差額金が18百万円（税効果分は除く）増加したことにより、全体として102億43百万円（同2億27百万円増）となりました。

④キャッシュ・フローの状況

当四半期連結累計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は16億78百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億5百万円増となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、8億82百万円（前年同期は8億72百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益4億44百万円の計上に加えて非資金項目として減価償却費2億32百万円計上、売上債権の減少2億77百万円、仕入債務の増加86百万円などによって資金が増加した一方で、法人税等の支払い2億円などによって資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2億85百万円（前年同期は2億39百万円の支出）となりました。これは主に、物流センター用地取得や既存設備の更新で2億20百万円、基幹システムの更新で48百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、2億90百万円（前年同期は3億15百万円の支出）となりました。これは主に、有利子負債の支払い1億99百万円（長期借入金43百万円、社債1億40百万円、リース債務16百万円）、配当金の支払い98百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月10日発表の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,440,742	1,758,316
受取手形及び売掛金	3,511,681	3,229,165
仕掛品	842,417	617,976
立替郵送料	101,521	112,273
繰延税金資産	99,388	99,898
その他	210,274	113,318
貸倒引当金	△3,778	△4,093
流動資産合計	6,202,246	5,926,856
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,346,434	2,282,294
機械装置及び運搬具（純額）	560,476	489,695
土地	3,621,496	3,785,089
リース資産（純額）	46,290	34,539
建設仮勘定	164,091	29,100
その他（純額）	92,267	89,966
有形固定資産合計	6,831,057	6,710,684
無形固定資産	55,164	168,735
投資その他の資産		
投資有価証券	625,071	640,570
投資不動産（純額）	866,664	857,129
その他	445,879	480,560
投資その他の資産合計	1,937,616	1,978,260
固定資産合計	8,823,838	8,857,681
繰延資産		
社債発行費	801	123
繰延資産合計	801	123
資産合計	15,026,887	14,784,660

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,758,486	1,844,601
1年内償還予定の社債	277,100	137,025
短期借入金	855,250	819,350
リース債務	32,242	29,749
未払法人税等	245,865	174,901
賞与引当金	211,480	229,797
その他	1,169,997	843,831
流動負債合計	4,550,422	4,079,256
固定負債		
リース債務	28,727	14,880
繰延税金負債	117,123	123,985
退職給付に係る負債	197,938	203,077
役員退職慰労引当金	55,010	57,360
再評価に係る繰延税金負債	18,327	18,327
その他	43,014	44,323
固定負債合計	460,141	461,954
負債合計	5,010,563	4,541,211
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,092,601	1,092,601
資本剰余金	1,468,215	1,468,215
利益剰余金	8,665,199	8,870,507
自己株式	△582,792	△582,842
株主資本合計	10,643,223	10,848,480
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	221,259	239,372
土地再評価差額金	△814,388	△814,388
退職給付に係る調整累計額	△33,771	△30,016
その他の包括利益累計額合計	△626,900	△605,032
純資産合計	10,016,323	10,243,448
負債純資産合計	15,026,887	14,784,660

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	10,745,413	11,492,293
売上原価	9,757,017	10,443,056
売上総利益	988,396	1,049,236
販売費及び一般管理費	536,794	618,900
営業利益	451,601	430,336
営業外収益		
受取利息	241	59
受取配当金	6,567	7,180
雑収入	4,720	9,072
営業外収益合計	11,529	16,312
営業外費用		
支払利息	15,173	12,391
その他	1,454	844
営業外費用合計	16,628	13,236
経常利益	446,502	433,413
特別利益		
投資有価証券売却益	—	21,080
固定資産売却益	—	889
特別利益合計	—	21,969
特別損失		
固定資産売却損	—	1,300
固定資産除却損	8	9,860
特別損失合計	8	11,160
税金等調整前四半期純利益	446,493	444,221
法人税、住民税及び事業税	127,730	143,772
法人税等調整額	11,061	△3,851
法人税等合計	138,792	139,920
四半期純利益	307,701	304,301
親会社株主に帰属する四半期純利益	307,701	304,301



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	307,701	304,301
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,735	18,113
退職給付に係る調整額	3,913	3,755
その他の包括利益合計	△15,822	21,868
四半期包括利益	291,878	326,169
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	291,878	326,169
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	446,493	444,221
減価償却費	230,834	232,983
社債発行費償却	1,355	678
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	12,012	10,551
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,298	2,350
賞与引当金の増減額(△は減少)	11,601	18,317
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△25,442	314
受取利息及び受取配当金	△6,808	△7,240
支払利息	15,173	12,391
有形固定資産売却損益(△は益)	—	411
有形固定資産除却損	8	9,860
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△21,080
売上債権の増減額(△は増加)	54,490	277,308
たな卸資産の増減額(△は増加)	129,323	224,440
立替郵送料の増減額(△は増加)	△28,182	△10,635
その他の流動資産の増減額(△は増加)	52,201	96,288
その他の固定資産の増減額(△は増加)	1,028	989
仕入債務の増減額(△は減少)	98,299	86,114
その他の流動負債の増減額(△は減少)	71,095	△299,734
その他の固定負債の増減額(△は減少)	—	6,400
その他	2,699	765
<b>小計</b>	<b>1,068,482</b>	<b>1,085,697</b>
利息及び配当金の受取額	7,123	7,240
利息の支払額	△15,042	△12,301
保険金の受取額	—	1,933
法人税等の支払額	△187,947	△200,421
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>872,615</b>	<b>882,148</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	—	△12,000
有形固定資産の取得による支出	△276,813	△220,088
有形固定資産の売却による収入	—	2,167
有形固定資産の除却による支出	—	△1,813
無形固定資産の取得による支出	—	△48,029
投資有価証券の売却による収入	—	32,240
投資有価証券の償還による収入	42,000	—
貸付けによる支出	△500	—
貸付金の回収による収入	445	298
差入保証金の差入による支出	△30	△42,311
差入保証金の回収による収入	—	50
その他	△4,652	3,892
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△239,549</b>	<b>△285,595</b>

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△24,500	7,500
リース債務の返済による支出	△23,499	△16,339
長期借入金の返済による支出	△125,400	△43,400
社債の償還による支出	△55,075	△140,075
自己株式の取得による支出	—	△50
配当金の支払額	△87,076	△98,613
財務活動によるキャッシュ・フロー	△315,551	△290,978
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	317,515	305,574
現金及び現金同等物の期首残高	1,276,492	1,372,742
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,594,007	1,678,316

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイレクト メール部門	セールス プロモーション部門	イベント 部門	賃貸部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,050,275	494,784	151,488	36,660	10,733,208	12,204	10,745,413
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	60	60	205	265
計	10,050,275	494,784	151,488	36,720	10,733,268	12,410	10,745,679
セグメント利益又は損 失(△)	578,663	76,954	△18,019	14,968	652,566	7,580	660,147

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家電製品販売を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	652,566
「その他」の区分の利益	7,580
セグメント間取引消去	△265
全社費用(注)	△208,279
四半期連結損益計算書の営業利益	451,601

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイレクト メール部門	セールス プロモーション 部門	イベント 部門	賃貸部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,640,054	493,228	314,158	39,479	11,486,920	5,372	11,492,293
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	60	60	276	336
計	10,640,054	493,228	314,158	39,539	11,486,980	5,649	11,492,630
セグメント利益又は損 失(△)	617,590	80,285	△1,460	18,760	715,175	1,137	716,312

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家電製品販売を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	715,175
「その他」の区分の利益	1,137
セグメント間取引消去	△336
全社費用(注)	△285,639
四半期連結損益計算書の営業利益	430,336

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。